

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	依存症対策		担当部局庁	障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	精神・障害保健課		北島 智子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬物・アルコールを中心とした各種依存症対策(以下「依存症対策」という。)においては、依存症そのものの回復に向けての取組を充実させることが重要であることから、依存症対策の先進的な取組を行う地域を支援するとともに、外部有識者による依存症対策についての検討を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取組を行う団体の採択や、国において今後必要とされる依存症対策の推進のための検討を行う経費。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	1	1	1	1	1	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	1	1	1	1	1		
	執行額	0.105	0.105	1				
執行率(%)	10.5%	10.5%	90.4%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	依存症対策の検討を行うための事務費であり、経費の性質上、定量的な成果実績等の計測は不可。			成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	会議の開催回数			活動実績(当初見込み)	-	1	1	7
				(5)	(5)	(5)	(5)	
単位当たりコスト	144,365(円/会議回数)		算出根拠	実績額1百万円、会議回数7回				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	依存症対策	1	1	-				
	計	1	1					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	依存症対策は喫緊の課題であり、当該対策においては地域の実情に応じた取り組みが必要不可欠である。また、依存症当事者やその家族等からも当該対策を強く求められており、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	依存症対策については、地方自治体等と共同して推進する必要がある。また、本事業の実施に当たっては国において評価を行う必要があるため、本事業は国主導の下実施する必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	依存症対策は自殺総合対策大綱や薬物乱用防止五か年戦略等においても強く求められており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	会議開催回数に応じた出席委員に係る諸謝金・旅費等必要なものに限定されている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	会議開催経費等、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業は地域の実情に応じて、実施自治体において先駆的な取組を実施・検証を行うことで、より効果の高い依存症対策が図られると考えている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	検討会において特に効果的と評価された取組については、実施自治体において更なる効果の検証を図るとともに、各自治体に対し情報提供等を行っている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>地域依存症対策支援事業については、平成23年度まで実施した地域依存症対策推進モデル事業において特に効果的と思われる取組について更なる検証を行い、地域における依存症対策の推進に努めているところである。</p> <p>また、平成24年11月から平成25年3月まで実施した「依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会」では、依存症の現状を踏まえ、求められている取組の検討を行い、今後の依存症対策につなげていくこととしている。</p> <p>当該経費は、依存症対策の検討会の開催経費として必要なものに限定されており、今後とも適切な執行に努める。</p>				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	870	平成24年	752

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
1百万円

業務概要: 依存症対策の関係者から構成される検討会を設け、先進的な取組を行う団体の採択や、国において
今後必要とされる依存症対策の推進のための検討を行う経費。



A 事務費
1百万円
(検討会の謝金、旅費及び会議費)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	地域依存症対策推進モデル事業評価検討会及び依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会開催経費	0.7			
諸謝金	地域依存症対策推進モデル事業評価検討会及び依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会開催経費	0.2			
会議費	地域依存症対策推進モデル事業評価検討会及び依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会開催経費	0.1			
計		1.0	計		0.0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.14		
2	個人B	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.13		
3	スペースユース(株)	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会会議費	0.12		
4	個人C	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.11		
5	個人D	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.08		
6	個人E	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.08		
7	個人F	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.08		
8	個人G	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.06		
9	個人H	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.02		
10	個人I	依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会出席謝金及び旅費	0.02		